

月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

えくてびあん

《EKUTEBIAN-VOL.1, NOVEMBER 1984-EKUTEBIAN》

11



まい あーと・木目込人形 by 宮崎悦子

ほっぺおちそうな人ッ?

CAKES

ケーキがおいしい立川の街

フランドール

西武立川駅を降りると、彼方に見える白亜の店、これが「フランドール」だ。ウインドーには色とりどりのケーキが並び、いれたてのコーヒーか紅茶でケーキを味わっている女の子が多い。本格的なクレープ、タルト、ムースなど、他に先がけて手がけてきたオーナー兼シェフの渡辺さん。少し先走り、の反省がなくもないがとにかくにも、東大和店からこの地にも拠点を築いたのが52年。地元で密着した味でゆきたいとはりきっている。(一番町2-36-2) ☎31-4053



エミリーフローゲ

1980年、立川駅北口にヨーロッパの香り高いお菓子の家「エミリーフローゲ」が誕生した。シェフ藤生義治さんの味が一枚看板。フランス、オーストリア、スイスなどで本場の味を身につけてきた、その技術がいかに発揮できる店を得て、彼、藤生さんはアブラの乗りどきである。得意のケーキを聞くと「全部、かな?」と少しはにかんで、写真の三品を迷わず並べてくれた。右からタルト・ペイザヌマ(280円)、サンマルク(250円)、ポロネーズ(280円)。(曙町2-4-28 IDPビル1F) ☎27-4138



ケーキスタジオ35

昨年5月、ファッショナブルなムードが漂うケーキ店が仲間入りした。その名も「ケーキスタジオ35」。常時、20種類以上ものケーキがかわい店先に並び、待ちきれずにその場で食べたくなってしまいそう。店長の杉村時男さんの話では「洋菓子であっても和菓子に近い味、形もとりにいれて主婦の方が集まって楽しく時を過ぎていただく」これが将来の目標とか。(羽衣町2-6-1) ☎27-6808



うちのやブルマン

錦町商店街のまん中にあり、若い女性や主婦に人気がある店。また、病院にお見舞いに来る方がおみやげとして買われるケースも多いとか。ケーキの種類は毎日異なり16種類ほどあり、洋なしアーモンド、ババロア、ココアケーキ、チーズケーキなどに人気集中しているという。またこのお店ではおいしいパンにも力を注いでおり、レーズンロール、スネイク、アンダーナッツを中心に20種類ほど作っている。

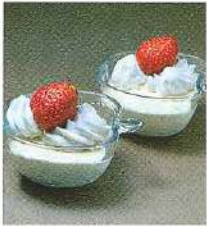


マリアン

ケーキの種類は20種類、もちろん手作りでコアントロー、キルシュ、コニャックなど高価なお酒もおしみなく使って、コクのある味をだしている。ご自慢のケーキは?と聞けばまず一番にホワイトチョコレートのスノウケーキ、それからカスターシュークリーム、生クリームをカステラではさんだハーフケーキという答えがかえってきた。そして大きなイチゴののったショートケーキがたくさん出るといふ、近所の主婦に人気。(高松町2-10-22) ☎24-3912



若いご夫婦でやっているお店だけに、明るい活気が店内いっぱいにみなぎっている。写真はババロア。(錦町1-18-7) ☎24-9280



感じるチョコレート

森永 ハイクラウン チョコレート

味のフルーティなホワイトチョコレート 120g

(ゴールド) ミルクチョコレート 120g

森永製菓

出前一丁「宮澤賢治」

宮澤賢治の作品「やまなし」と「夜だかの星」をもって、語り・続けていく「クラムボンの会」が秋風立つある夕、幸兒童館を訪れた。集まった子供たち、お母さん方は賢治の宇宙空間に魅せられていた。

「クラムボンの会」は林洋子さんの語り、園部幸子さんのアイリッシュ・ハーブで、特記すべきは、照明、幻燈など、出前先の子供たち

読書の秋も、そうでない時も『エミール』を読む女性がいるのです。

映像文化の時代に、本の役割は終わったかのように言われる。世はあけてハウツー物全盛に、二百年以上も前に書かれたヨーロッパの古典をコツコツ読むオナガがいるのだろうかと思われ、向きは、お立ちあい！ いるんですねえ、これが。しかもわが立川市にですぞ。彼女たち「読んでますッ」と肩をはらない、笑顔のレディーたちだ。



田中 未来著 誠文堂新光社刊

テクニストは岩波文庫版(上・中・下)今野一雄訳。本屋で立読みし難解な文章と内容である。そこの小説本のように、ハズに読むというわけにはゆかない。

「内容の核心にふれるようになったのは、実は最近なんです。それまではどうしても細かい語句にとらわれてしまっていました……」



白梅学園 園長 田中 未来先生

「私たちが、なにもオペンキョウしに来てるんじゃないんです。来た

ちが取り組んでいることだ。創立以来、年間一回近くも出前公演を続けてきた。今回は幻燈に浅野訓志くん(八小3年)、照明は辻優子ちゃん(同3年)と辻智子ちゃん(同5年)、部屋照明に酒井康全くん(同3年)デジタ。



立川にお住まいの方に限って真如苑では精舎のご案内を企画、今回で3回目になります。お陰さまでとても好評のうちに大勢の方に喜んで頂いております。今月は祭日にあたりませんが、ぜひご予定に組み入れて頂きまして、お誘い

先生から「エミール」の真髄を教えて頂きたいと自主サークル「エミール」を立ち上げた。10名のグループだった。毎週一回集まって、月に一度は田中先生に来て頂く。先生は「上巻から下巻まで全部読み通して欲しいし、彼女たちならそれをやりぬくでしょう。もう中巻の前半までできていますから。彼女たちは母親としてしっかり生きてきた、子育ての体験の中から教育の原点をさぐる必要があったのでしよう」先生を迎える日、それぞれの趣向をこらしたクッキーを持ち寄り、心やさしい、お母さん、たちだ。秋の夜長というが、冬の夜はもっと長い。ツンドクばかりが読書法じゃありませんぞ、えくてびあん愛読者諸君!

ど盛りだくさんの用意がしてございます。立川市民(成人)に限らせて頂きます。お申し込みは「えくてびあん・コンパニオン」(本誌を手渡してくれた人)へ。

「グループだから、ここまで読んでこれたんじゃないかしら。一人だったら、とてもムリ」

「正直なところ、この会以外のところでも読んでる会員って、いないんじゃないかしら」

「自分の考えに固執しないで、皆さんと討論しながら読むのが問題意識をかりたててくれると思うんです」

いから来ている、っていうのかな。カタヒジ張らないところが長続きしている原因かも知れない。

「学生時代に読んだら、きっと今の個所でひつかからないと思うの。子供のことは育ててみなければゼツタイ解らない。問題意識が違いますね、やはり」

彼女たちにとってみると「エミール」はある種の「実用書」なのだ。むろん浅薄なハウツーものとは一線を画した意味で。

なにしろ二百年も前に書かれた教育小説である。時代に即応しない面もある。

「いま、エミールがいたら、落ちこぼれ、じゃないかしら」という意見も出るのだが、やはり二百年をこえる歳月に耐えたクラシックの魅力はすてがたい。

「エミール」の魅力は彼女たちに教えてくれたのが、一昨年秋に立川中央公民館で講義をしてくれた田中未来先生(白梅学園学長)である。その講話が終っても、まだ

募集!! 得意の夜食を教えて下さい。冬将軍は今年も、今か今かと出番を待っています。そして寒い夜に受難勉強のお子さんをお持ちのお母さん方、あなたの得意とする「夜食」を立川の皆さんに教えてあげて下さい。2月号で特集にします。(A切) 12月15日、ハガキで作成方を(送り先)えくてびあん編集工房まで。

あたることを言い、仏教においては「雑念を払って深く、ただ一筋に仏道に励むこと」を意味しているそうです。六波羅蜜」というのは仏道修行の具体的な項目で、この六つの修行をよることであると極楽にいる気分になれるそうです。

この極楽気分に入るための一つの方法「精進」に対して、日本では「精進日」として特別な日が設けられています。普段は肉も食べず、お酒もグイグイける在家の人たちも、この日はかりは不殺生戒やら不飲酒戒などのきまりを素直に守り、肉や酒は口にしないようにしています。

こうして精進日にされる料理は、生命の尊さを覚る、心の料理。ということが出来るでしょう。一見、菜食主義者の、合理、から生まれた料理にみえますが、単にスタイルや健康を気にしての料理というのではないことがわかります。

「精進日」は食事を通して仏さまの教えを正しく身につける日でもあります。

しかし、スタイルを気にしながらの菜食主義的料理であっても、ステーキを食べたい雑念を払いのけて貰ってあげれば、これもまた立派な「精進」であることに間違いはありません。

なにかみ屋のだからか、あまり口をきいてくれない宮崎さんが人形を手にする、人がかわったように明るい声になった。木目込人形は砂川公民館の教室で習ったのがはじめてとか。その後、同好の志で「友の会」をつくっている。誰かに差し上げようと思っ作っているうちに、途中から手離すのが惜しくなってくるという。趣味も、本道に入ったか。

先月号の「えくてびあんレポト」猫の巻は、ネコ好き、ネコ嫌いかいろいろな声が届けています。編集者はそろそろも揃ってノーズサイド、というよりも無関心派。ネコといえは「ミケネコ」と「ドラネコ」しか知らない。キョーヨーがないねえ。●教養といえは、こちら学窓を去ってヒトの親となつても、いまだ向学心にもえている女性たち。エミールを読むのの情熱を知ったら、ルソー先生、ないてヨロコブののではないだろうか。●来月はベートーベンの第九。をスブの素人が唱いあげようと400人が取り組んでいる。その熱っぽい先生と生徒の姿を追ってみたい。講義るかな?

てびあん 豆事典 精進料理

一般的に「精進料理」といえばエアロビクス、ジョギングと並ぶ

「精進料理」といえば、あたることを言い、仏教においては「雑念を払って深く、ただ一筋に仏道に励むこと」を意味している

「私たちが、なにもオペンキョウしに来てるんじゃないんです。来た

こうして精進日にされる料理は、生命の尊さを覚る、心の料理。ということが出来るでしょう。

しかし、スタイルを気にしながらの菜食主義的料理であっても、ステーキを食べたい雑念を払いのけて貰ってあげれば、これもまた立派な「精進」であることに間違い

なにかみ屋のだからか、あまり口をきいてくれない宮崎さんが人形を手にする、人がかわったように明るい声になった。

先月号の「えくてびあんレポト」猫の巻は、ネコ好き、ネコ嫌いかいろいろな声が届けています。

☆「珈琲・ばだい樹」が飲みもの全品特別サービス

の井上栄一さん。11月8日より毎週木曜午後7時より5回の講習。年令は問いませんが、中学生以上とし先着15名まで。問い合わせ先

の味、呉服、工芸が勢揃い。11月8日・13日まで。☆中央公民館で亀井文夫監督作品を連続上映

映。11月16・17・18日の3日間。問い合わせ先 0425-242773 (立川中央公民館)

☆おしゃれの店「明星」がセーターなどをバーゲン

☆市民会館で「冒険者たち」を上映

第21回「立川親と子のよい映画をみる会」で「冒険者たち」を上映する。

立川伝言板

0425-278762 (富士見町の上会館)

☆伊勢丹立川店で「味と技 大江戸のれん市」を開催

幻の名作といわれる「上海」戦艦「戦艦」が立川にやってくる。戦後を通じて進歩的社会的立場を貫いてきた記録映画作家・亀井文夫監督の主要作品を一挙上

の教えを正しく身につける日でもあります。

しかし、スタイルを気にしながらの菜食主義的料理であっても、ステーキを食べたい雑念を払いのけて貰ってあげれば、これもまた立派な「精進」であることに間違い

なにかみ屋のだからか、あまり口をきいてくれない宮崎さんが人形を手にする、人がかわったように明るい声になった。

先月号の「えくてびあんレポト」猫の巻は、ネコ好き、ネコ嫌いかいろいろな声が届けています。

えくてびあん 第4号

昭和五十九年十一月五日発行

発行所 えくてびあん編集工房

東京都立川市柴崎町1-2の13

電話 0425-0082

編集人 立井啓介

発行人 沖野嘉男

印刷所 株式会社 立川印刷所

定価 五〇円



この絵ハガキは立川青年会議所が主催して下さって「親と子の民話劇場」で語った時のものです。社会教育会館へは大勢の方がつめかけて下さり、思いがけない熱気の中で語らせていただきました。こればかりもろん私の話術のせいではありません。皆さんの心の奥に民話を懐しむお気持ちがあったからでしょう。——いろいろの火は消えても、心の火までは消さないで。この願いをこめて民話を語りはじめ、もう何年になるでしょうか。民話は民族の大切な遺産だと思います。日本人の心のぬくもりです。この日は『あずきまんまの歌』と

か『おこり地蔵』など一つのお話を語りさせて戴きました。篠笛をふいて下さったのは木部崎幸子さんです。では、又。

俳優

ねまたよういち
伊藤 曜

